

加殿用水を守る会(伊豆市)

～狩野川の水資源に恵まれた田園地帯～

1. 取組面積

水田	15.6 ha
畑	3.4 ha
草地	— ha
合計	19 ha

2. 活動内容

農地維持	平成19年度～
資源向上支払(共同)	平成26年度～
資源向上支払(長寿命化)	—

3. 主な構成員

農業者、自治会、子供会、老人会、その他(消防団)

4. 主な取組内容、活動写真



農道、農地法面の草刈りのほか、
景観形成活動を実施

地域共同で用水路の草刈り、泥
上げ作業を実施



○活動組織からのメッセージ○

年間活動計画を基に、構成員と共に活動しています。

実施時期を事前に周知することで、皆さんの協力を得ています。

また、急な働きかけにも構成員の皆さんが快く対応してくれるので、本当に助かっています。



1. 取組面積

水田	1.5 ha
畑	5.4 ha
草地	— ha
合計	6.9 ha

2. 活動内容

農地維持	平成19年度～
資源向上支払(共同)	平成26年度～
資源向上支払(長寿命化)	—

3. 主な構成員

農業者、自治会、子供会、その他(消防団ほか)

4. 主な取組内容、活動写真



学校機関による梅の植樹など、地域活性化に向けた活動を実施

農業者を中心に、地域共同で農地法面の草刈り作業を実施



○活動組織からのメッセージ○

住民の高齢化や少子化の影響により荒廃しつつあるふるさとの景観を地域の共同活動で守っています。
農道や用水路の管理を中心に活動を行い、地域としての一体感を作り出すために、地域独自の催しや景観づくりにも力を入れています。

関野地区農地・水・環境保全向上会(伊豆市) ～天城連山北麓の恵まれた水資源で良質な米や野菜を生産～

1. 取組面積

水田	8.7 ha
畑	1.3 ha
草地	— ha
合計	10 ha

2. 活動内容

農地維持	平成19年度～
資源向上支払(共同)	平成26年度～
資源向上支払(長寿命化)	—

3. 主な構成員

農業者、自治会、子供会、その他(地域団体ほか)

4. 主な取組内容、活動写真



地域住民と協力して、花苗の植栽による景観形成活動を実施

農業者を中心に、地域共同で農道や農地法面の草刈り作業を実施



○活動組織からのメッセージ○

活動開始当初に植えた関野川沿いの河津桜の苗木が大きく育ち、区民の草刈り作業などの手入れにより、今ではきれいな花を咲かせるようになりました。

1. 取組面積

水田	27.1 ha
畑	6.8 ha
草地	— ha
合計	33.9 ha

2. 活動内容

農地維持	平成20年度～
資源向上支払(共同)	平成26年度～
資源向上支払(長寿命化)	—

3. 主な構成員

農業者、自治会、子供会、民間企業(福祉関係)

4. 主な取組内容、活動写真



地域住民と協力して、花苗の植栽による景観形成活動を実施

農業者を中心に、地域共同で水路の泥上げ作業を実施



○活動組織からのメッセージ○

ふるさとの風景を守るために、地域共同で農道の草刈りや水路の泥上げ、景観形成活動を実施しています。今後も地域の皆さんと協力して活動を継続していきたいと思ひます。

久保田用水美農里会(伊豆市)

～堤防に守られた狩野川沿いの農村地域～

1. 取組面積

水田	6 ha
畑	0.1 ha
草地	— ha
合計	6.1 ha

2. 活動内容

農地維持	令和4年度～
資源向上支払(共同)	令和4年度～
資源向上支払(長寿命化)	令和5年度～

3. 主な構成員

農業者、非農業者(個人)

4. 主な取組内容、活動写真



農地・水路と隣接した
狩野川堤防の美化活動

水路柵の補修工事を実施



○活動組織からのメッセージ○

伊豆市本立野区のうち、狩野川堤防沿いの農地一帯が活動地域です。水路・農道の維持管理と併せて、農地や水路に隣接した堤防の美化活動も行い、農村環境の保全に取り組んでいます。次世代の担い手不在のまま高齢化が進んでいますが、農業のできる環境を未来へ残したい思いで活動しています。

牧之郷水と緑の環境整備委員会(伊豆市)

～力を合わせて！ 用水と農地を活用した地域づくり～

1. 取組面積

水田	8.3 ha
畑	0.2 ha
草地	— ha
合計	8.5 ha

2. 活動内容

農地維持	令和5年度～
資源向上支払(共同)	令和5年度～
資源向上支払(長寿命化)	令和5年度～

3. 主な構成員

農業者、自治会、子供会、その他(商工会、消防団ほか)

4. 主な取組内容、活動写真



初年度は基礎的な活動に力を入れて組織としての地盤固め

用水路の草刈りや取り入れ口の泥上げを行いました



○活動組織からのメッセージ○

牧之郷区は伊豆市の中でも人口の多い地区ですが、その多くが非農業者。耕作者のいない農地が増え水路や農道も古くなってきています。そこで農業者が立ち上がり、自治会や子供会を巻き込んで組織を設立しました。地域が一丸となり、農村環境と住環境の調和と整備に取り組みます。